



## 第46回九州女子選手権競技

競技報告 (2016/ 5.30 - 6.1)

写真と記事 : M. Kikutake

通算2アンダーの214 14歳、沖学園高1年生

### 後藤未有(鷹羽ロイヤル)が初優勝

第46回九州女子選手権競技は5月31日から6月1日までの3日間、福岡県筑前町の夜須高原カントリークラブ(6393㌦、パー72)で行われ、福岡・沖学園高1年、14歳の後藤未有(鷹羽ロイヤル)が通算2アンダー、214で初優勝した。

#### 後藤はただ1人のアンダーパー 田中瑞希(グランドチャンピオン) 3連覇ならず

2日目に単独トップに立った後藤は、大会3連覇がかかる熊本国府高3年、田中瑞希(グランドチャンピオン)に2打差をつけての最終日。前半は3連続バーディー(1ボギー)などで好調に折り返したが、後半は1ダブルボギー、2ボギー(1バーディー)とスコアを伸ばせなかった。

しかし、同組の田中も前半は1バーディーと耐えていたものの、後半はパット不調で、4ボギーを重ねて脱落。同じ同組の宮崎公立大1年、18歳の森満約香(宮崎国際空港)が3バーディー、3ボギーの72で回ったが捕らえきれず、後藤の逃げ切りを許した。

後藤はただ1人、通算でのアンダーパー優勝だった。

2打差の通算イーブンパー、216で森満が2位、さらに1差の1オーバー、3位に宮崎・日章学園高3年、三浦桃香(フェニックス)。

連覇を狙った田中は通算2オーバーで、熊本国府高1年、星川ひなの(矢部サンバレー)、福岡・常磐高2年、辛島寧那(鷹羽ロイヤル)とともに4位タイだった。



### 日本女子アマは20人が出場権

この試合の結果、第58回日本女子アマチュア選手権(6月21~24日、福島県グランディ那須白河GC)へは、シード権を持つ佐渡山理莉(エナジック瀬嵩、17位タイ)を除く上位20選手が出場権を得た。17位タイの5人のうちの4人は最終日スコア上位で選抜。

### 「熊本地震」で日程・会場を変更して開催

九州女子選手権競技は今年から、従来の2日間から3日間大会へと拡大して実施。

当初は、熊本県菊池市の「くまもと中央カントリークラブ」で5月10日から開催予定だったが、4月に熊本、大

分両県下を襲った「熊本地震」のために急きょ、日程と会場を福岡の「夜須高原CC」に変更して行われた。熊本出身の選手の中には、車中泊を余儀なくされた選手もいたが、多くは元気な姿を見せてくれた。



## 後藤未有 狙って取った栄冠

### 「次は日本女子アマ」に照準

最終18番(パー5)の第3打をピタッとピン30ヤードにつけて、OKバーディー。後続に2打差をつけてホールアウトした後藤未有だったが、優勝は「グリーンを下りて、みんなにおめでとうと言われてやっと…」と言い、それほど集中した最終ラウンドだったようだ。

公式競技で初めての最終日最終組。スタートはカンだか、出だしは左に引っ掛け、バンカー。そこからグリーンをとらえたものの、3パットしていきなりのボギーで、バーディースタートの田中との2差がなくなった。しかし、「あれで攻めるしかないと思った」という後藤は、2番から3連続バーディーで盛り返し、前半2つスコアを伸ばして折り返した。

ところが10番(パー4)で2打をグリーンオーバーして、アプローチも寄らずで3パットのダブルボギー。このあとも12、15番と2つのパー3ホールでボギーを打ち、「さすがに、負けたかな、と思った」と言う。

だが、相手も悩んでいた。ことごとくショートパットに泣かされてボギー連発の田中。森満が前半の1ボギーのあと、後半は3バーディー(2ボギー)とまとめてきたが、そこまだった。後藤は、最終日こそ1オーバーとしたが、2日間はアンダーパーで回り、安定したゴルフで引き寄せた優勝だった。

北九州市出身で、4歳の時「テレビで藍ちゃん(宮里)を見て」とゴルフに興味を持ち、始めた。小2の時から九州小学生大会に出場し、小6で福岡に転居、アマの指導者、篠塚武久氏に師事した。中学校に進んでからも順調に成長し、中3の昨年は九州ジュニア12~14歳の部でとうとう優勝を果たした。

そして女子アマ九州チャンピオン。このオフでの階段ダッシュなどで鍛えた下半身の強化で「飛距離が伸びた」と言い、この大会は「優勝を狙っていた」と自信をもって臨んだ後藤だった。

両腕で抱えた「狙って取った」、カップには不動裕理、大山志保、笠りつ子や、最近の香妻琴乃、福田真未といった女子プロ界で活躍する名前が刻まれている。

「この中に自分の名前が加わるって、すごくうれしい」と言う後藤の次なる目標は、「日本女子アマでの優勝」。「今調子がいいし、しっかり調整すればできるんじゃないかと思う」と、自信もついた後藤だった。

(写真は最終18番で残り53ヤードをピンに30ヤードにつけた後藤未有のアプローチショット。後方は森満絢香)



(C)GUK



(C)GUK

## 「自分のゴルフができなかった」

### 3連覇を逃した田中瑞希

〇…3連覇を逃し4位タイに終わった田中瑞希(円内写真)。1メートル前後のパットがことごとくカップに嫌われ、後半は4ボギーの40。「連覇を逃したことより、自分のゴルフができなかったことが悔しい」と涙を見せた。

震度7に2度襲われた4月の「熊本地震」。田中は熊本市東区に自宅があり、被災した。屋根瓦が落ち、ガスや水道も止まり、車中泊も強いられた。

思いのままにならない練習。田中は東区役所で救援物資運びのボランティアを行ったりしていたが、コースに出られたのは月末になってから。出場

を予定していたプロトーナメントも中止になり、実戦から遠ざかった影響も否めないこの日の結果だった。